■令和６年度事業報告（事業の状況）■

公益目的事業	本県木材関連産業の振興を図る事業

（１） 情報収集提供事業

本県木材関連企業における製品開発や加工利用技術の向上に資するため、秋田県立大学木材高度加工研究所の試験研究成果、木材・木製品に関する法令や制度の制定・改正情報、各種研修会や講習会の開催案内、木材関連の新技術情報、当機構の業務紹介などについて、情報紙及びホームページにより適時広範な情報発信を行うとともに、県内の森林・林業・木材産業及び木製品のプロモーションを行った。

１）情報紙の発行

情報紙「木材加工最前線」を出捐団体や賛助会員をはじめ、県内の林業・木材関連企業や行政機関、県内外の試験研究機関等へ配布した。

発行回数：3 回（102～104 号）／　発行部数：各号 600 部

NO.	発行部数	発行日	主な内容
第 102 号	600 部	R6.8.10	木材高度加工研究所から～ COＩ-NEXT ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑが開催 / 伝統木工産業の今とこれからの取組：足立教授 ほか 木材加工推進機構から～秋田県原木需給会議のあらまし / あきた木造建築塾を開催 ほか
第 103 号	600 部	R6.12.27	木材高度加工研究所から～ 木材利用と森林整備の可能性を考える：高田所長らが講演 / 出前講座：金足農業高 木材加工推進機構から～ MOCTION AKITA2024 / 木材利用提案ｺﾝｸｰﾙ / 中国木材能代工場の見学ほか
第 104 号	600 部	R7.3.31	木材高度加工研究所から～ 日本木材学会大会　仙台での開催 / 公開ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ：足立教授ほか / ｸﾞﾘｰﾝｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ基金事業について：岡崎准教授　ほか 木材加工推進機構から～ 耐火木質ﾗｰﾒﾝ構造研究会と防耐火構造部材の開発 / 木高研講演会 / 昨今の業界だより ほか

２）ホームページの運用【令和７年３月リニューアル】

当機構の業務紹介、各種研修会や講演会の開催案内、最新の木材製品情報、木材関連産業のトピックスなど各種情報をホームページに掲載し、広く情報の提供を行った。

◎更新回数：ＨＰ１１回、ＦＢ９回　／　トップページへのアクセス数：3,886 件

３）オールあきた材ブランド発信事業（県受託事業）

① プロモーション動画等の制作

・秋田県の木材製品に関するプロモーション動画製作

「あきた材で家を建てる」（193 秒×1 本）

② 首都圏展示会の開催及び運営

【1】森林資源の成熟に伴って増加する高品質スギ大径材から生産される内装材や家具製品など県産材の利用拡大を図るため、木材製品のプロモーションを首都圏で開催。

・会　　場：東京都新宿区西新宿 3-7-1　新宿パークタワー5F 「ＭＯＣＴＩＯＮ」

・運営期間：令和６年 10 月 24 日（木）～11 月５日（火）

・展示内容：ＡＫＩＴＡ　Ｗｏｏｄ　Ｍａｎｉａ！

～マニアックなほど素晴らしい秋田の木と仕事～

ウエルカムゾーン、AKITA COLLECTION ゾーン、Akitasugi DLT Furniture ゾーン、ORAE アキタファニチャーゾーンの４つのゾーンで展示。

・来場者数：502 名

【2】出展した各家具ブランドのデザイナーや開発担当者によるトークイベントを開催。

・日　　時：令和６年 10 月 27 日（日）14：00 から 16：00

・会　　場：東京都新宿区西新宿 3-7-1　新宿パークタワー7F　コラボエリア

・モデレーター：コードアーキテクツ株式会社　代表取締役　小杉　栄次郎

・講　　師：株式会社 喜多俊之デザイン研究所　代表取締役　喜多　俊之

有限以外社 r-homeworks　代表取締役　今中　隆介

株式会社 長谷萬　執行役員　鈴木　康史

・来場者数：19 名

③ 新価値創造調査業務

・木造建築物の室内空間における成分の分析に係る研究を目的に、成分分析、分析結果のとりまとめ等を木材高度加工研究所と受託契約。

担当教員：木材高度加工研究所　准教授　澁谷　栄

実施場所：埼玉県上尾市住宅展示場ほか２箇所

４）第 75 回日本木材学会大会への出展

・開催期間：令和７年３月 19 日（水）から３月 21 日（金）

・会　　場：宮城県仙台市青葉区青葉山 「仙台国際センター」

・展示内容：業務内容、木材高度加工研究所耐火炉施設の紹介

（２） 技術指導・移転事業

木材関連企業が抱えている木材製品の生産、加工、利用に関する技術的課題の解決をサポートするため、各種相談対応、現地指導、企業訪問などを行った。

１）相談対応

来訪、電話等により企業から寄せられる諸課題に木高研と連携しながら対応し、必要に応じて資料送付、関連情報の収集提供、データ恵与、事例紹介などを迅速的確に行った。

◎ 相談件数：２５件

① 内容別内訳　　（件）

加工技術	生産技術	利用技術	情報提供ほか	計
4	3	1	１７	２５

② 業種別内訳　　（件）

林業	木材加工	流通	建築設計	行政	試験研究	その他	計
0	１７	1	0	0	1	6	２５

２）現地指導

企業からの派遣要請に基づき、当該企業が抱えている技術的課題の解決に適任の指導者を当機構の顧問、技術コンサルタントなどの中から人選し、直接企業に赴いての現地指導を行った。

◎ 顧問指導：０件　／　技術コンサルタント指導：1社

区分	指導日	対応者	依頼者	内　　容
技術ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ	R7.1.17	木構造振興(株) 客員研究員 原田浩司	能代山本広域市町村圏組合消防本部	・木造耐火に係る基調講演

３）企業訪問

木高研の研究成果の民間への移転可能性を探るとともに、企業ニーズを把握して研究課題に反映することをねらいとした企業訪問を実施した。

◎ 訪問企業数：７４社（団体など含む）　　社（延べ）

林業	製材	合板	集成材	フローリング	プレカット
6	２６	6	5	2	4
チップ	家具木工	建具	流通市場	工務店	その他
3	5	3	9	0	5

（３） 啓発研修事業

新製品開発に意欲のある企業や、社員の技術研鑽・知識向上に取り組む企業などを支援するため、公開講演会及び技術研修会を開催した。

１）公開講演会

木材高度加工研究所の研究内容や成果を業界関係者、行政、他研究機関などへ広く周知するため、能代市、能代木材産業連合会と連携して研究所講演会を開催した。

開 催 日	会場	参加者	講　　師	演　　題
R7.2.20	木高研研修室	51 名	森林総合研究所 主任研究員 陣川雅樹氏	「日本における林業機械の現状と今後の方向性」
			木材高度加工研究所 所長・教授 高田克彦氏	「COI-NEXT(本格型)プロジェクトのスタート」-2050 年に向けた木高研の新たな挑戦-
			木材高度加工研究所 准教授 岡崎泰男氏	「グリーンイノベーション基金事業」-高層建築物等の木造化に資する等方性大断面部材の開発-

２）技術研修会

県民や県内の事業者等に対して、木材の優先的な利用について意識醸成するとともに、建築において木材利用を提案できる人材の育成を図るため、セミナー等を開催した。

◆あきた木造建築塾開催（県受託事業）

開催日	会場	参加者	講　師	演題・テーマ
R6.6.20	ｵﾝﾗｲﾝ開催	14 名	秋田県林業木材産業課 主　任　山田理早氏 木材高度加工研究所 所　長　高田克彦氏	・建築講座概要説明 ・「木材利用と炭素循環」
R6.6.27	ｵﾝﾗｲﾝ開催	14 名	木材高度加工研究所 准教授　野田　龍氏 木材高度加工研究所 准教授　渡辺千明氏	・「材料としての木材」 ・「建築と木材」
R6.7.11	ｵﾝﾗｲﾝ開催	29 名	秋田県立大学 教　授　　板垣直行氏 木構造振興(株) 客員研究員　原田浩司氏	・「木造建築の変化」 ・「木建築物の耐久性・耐候性」
R6.7.25	ｵﾝﾗｲﾝ開催	28 名	(有)西方設計 代表取締役　西方里見氏 (有)西方設計 取締役　　藤田　剛氏	・木造建築設計の実務 ～住宅・非住宅の許容応力度計算～
R6.12.25	秋田県 JA ﾋﾞﾙ	96 名	林野庁　林政部 木材利用課長　難波良多氏	・「次世代の木材利用」 ～ｳｯﾄﾞ・ﾁｪﾝｼﾞで時代を拓く～

◆建築を学ぶ学生を対象にした設計コンペの開催（県受託事業）

開催日	会場	参加者	審査委員等	内　　容
R6.11.21	秋田県 JA ビル	7 名	審査委員長 秋田公立美術大学 教授 小杉栄次郎氏 ほか委員 6 名	・木材利用提案コンクール応募作品の審査（応募作品数 17 点） 最優秀賞 1 点, 優秀賞 2 点, 特別賞 1 点, 佳作 2 点
R6.12.25	秋田県 JA ビル	59 名	木材利用提案コンクール表彰式 講評 秋田公立美術大学 教授 小杉栄次郎氏	・作品：表彰式会場に展示

◆木造・木質化の優れた建築物等について普及啓発を図る事業（県受託事業）

開催日	会場	参加者	審査委員等	内　　容
R6.11.21	秋田県 JA ビル	7 名	審査委員長 秋田県立大学 教　授 板垣直行氏 ほか委員 6 名	・ｳｯﾄﾞﾌｧｰｽﾄあきた木造・木質化建築賞の審査 木 造 A 部 門：最優秀賞 1 点 木 質 B 部 門：最優秀賞 1 点 木 質 化 部 門：最優秀賞 1 点 ﾘﾉﾍﾞｰｼｮﾝ部門：最優秀賞 1 点

R6.12.25	秋田県 JA ビル	59 名	ウッドファーストあきた 木造・木質化建築賞表彰式 講評 秋田県立大学 教　授 板垣直行氏	・受賞作品集　1,000 部作成

収益目的事業	木材に関する調査・研究等を行う事業

企業などから発注される次のような木材に関する調査・研究事業等を行った。

1　企業からの依頼により、製材品・集成材・家具等の強度試験、木材の含水率や摩耗などの物性試験、耐火試験のほか、ホルムアルデヒドの放散量測定など、製品の品質管理や新製品開発過程などで必要とする各種の試験を実施する。
2　大学などが発注する木材の調査・研究に関する業務を受託する。
3　自治体などからの依頼を受け、木製ダム・木柵・木橋等の木製構造物の劣化等の診断をする。

◎依頼件数：４８件

分　野	件　数	主な試験内容
強度試験	２６件	・集成材の曲げ試験 ・椅子の各種強度試験 ・ラミナのせん断試験　ほか
物性試験	７件	・製材の含水率試験 ・フローリングの硬さ ・接着性能試験　ほか
耐火・燃焼試験	１０件	・耐火試験
その他	５件	・ＣＬＴの製造実験 ・剪定枝の炭化作業　ほか

貸借対照表

令和7年3月31日現在

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	20,592,888	23,176,148	△ 2,583,260
未収金	3,296,700	3,256,500	40,200
前払金	193,050	26,730	166,320
流動資産合計	24,082,638	26,459,378	△ 2,376,740
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
投資有価証券	418,644,000	430,824,000	△ 12,180,000
基本財産合計	438,644,000	450,824,000	△ 12,180,000
(2) 特定資産			
定期預金	115,000,000	115,000,000	0
特定資産合計	115,000,000	115,000,000	0
(3) その他固定資産			
電話加入権	144,000	144,000	0
備品	314,775	776,475	△ 461,700
ソフトウエア	469,260	0	469,260
その他固定資産合計	928,035	920,475	7,560
固定資産合計	554,572,035	566,744,475	△ 12,172,440
資　産　合　計	578,654,673	593,203,853	△ 14,549,180
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,038,602	1,852,230	△ 813,628
預り金	183,337	312,344	△ 129,007
流動負債合計	1,221,939	2,164,574	△ 942,635
負　債　合　計	1,221,939	2,164,574	△ 942,635
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	450,824,000	442,182,000	8,642,000
基本財産評価損益	△ 12,180,000	8,642,000	△ 20,822,000
指定正味財産合計	438,644,000	450,824,000	△ 12,180,000
（うち基本財産への充当額）	(438,644,000)	(450,824,000)	(△ 12,180,000)
2. 一般正味財産	138,788,734	140,215,279	△ 1,426,545
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	577,432,734	591,039,279	△ 13,606,545
負債及び正味財産合計	578,654,673	593,203,853	△ 14,549,180